

SNSとは～ネット上で人と人がつながるサービス

情報モラルを身につけて正しく使うことが大切です！

竹田小通信

竹田で学び 竹田に生き 竹田を拓く

2019年
2月28日
文責 宗岡

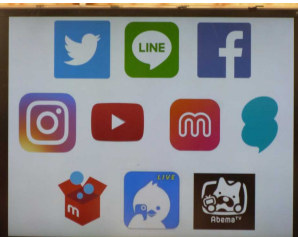
子どもたちの話を耳をすますとどう

もYouTubeで発信されていることのようにです。子どもたちの多くに大人気のYouTube。他にもゲームや音楽、LINEを日常的に楽しんでいる子どもがほとんどです。竹田小で自分のスマホやタブレットを持っている子どもは四割、スマホやタブレット、ゲーム機でインターネットを使ったことがある子どもは、九割以上います。▼一〇年前にはなかったネットの世界が今の子どもたちは生まれた時から身近なツールとしてあります。情報の収集や発信ができ、いろいろな人とやりとりができるインターネットは、世界中に広がるネットワークとして、これからは大きく広がる可能性を持っています。▼ネット環境が広がるにつれ、メディア（SNS等）利用については、ゲーム依存症やSNSを通じた事件や犯罪も身近なものとして子どもたちに伝える必要があります。使い方を間違えると大変なことになると知らせなければなりません。▼四五・六年生にハイパーネットワーク社会研究所の副所長さんを講師に情報モラル授業を行いました。



授業では、ゲーム機(ゲーム機はインターネットにつながります)を外に持って出たA子さんが、知らない人からのメールに応じてIDを交換し、住所や学校名を教えてしまったことから怖い思いをしたというVTRをもとに「危険を考えました。ネット上のやりとりでは」●簡単に信用しない ●写真や個人情報を安易に送らない ●友だちの情報や写真は送らない「困ったら、お家の人や学校の先生に相談することを学びました。▼小さな機器なので世界中に広がることはイメージしにくいのですが、掲示板やタイムライン等世界中のみんなに見られている可能性があり、取り返しがつかない危険性を知らせていることを知り、利用させることが大切です。

子どもが知っているアプリ。利用上の注意には『十三歳未満は使用しない』という年齢が書かれています。サイトが適しているかどうか親子相談してください。



ルール例

時間について
・夜9時以降は使わない
・1日1時間など使う時間を決める
・宿題が終わってから使う
場所について
・家族がいるところで使う
・充電はリビングでする。
・寝る時は、自分の部屋に持ち込まない。
利用内容について
・自分や友達の個人情報や簡単な出さない
・悪口は絶対に書かない
・困ったら大人に相談する

認知症サポート出前授業

四年生を対象に認知症サポート出前授業をお願いしました。竹田市地域包括支援センター、大分県認知症疾患医療センターの皆さん他ご支援いただき、町や家庭で症状の見受けられる高齢者との接し方を学びました。①道に迷っているお年寄りを見かけたら、②財布をなくしたと困っているおじいちゃんがいたら、という場面で声かけや対応の仕方も教えていただきました。子どもも社会の一員として認知症の方をサポートできることが機会になりました。

竹田で学ぶ一・三年生

社会科の郷土学習では、「町を知ろう」という学習をしています。竹田に残る文化財や偉人、地域の祭り等、子どもたちが追求したい題材を選んで学んでいます。

文化財課の工藤さんや岡本の工藤さん、キリシタン研究所の後藤さんをゲストティーチャーに迎え本物で教えていただきました。キリシタン礼拝堂に見られる教徒の文化や大歳神社の祭りを受け継ぐ皆さんの思い、瀧廉太郎少年が描いた絵や田能村竹田の南面を見せていただき、語っていただきました。

「すいごー」と興味をかき立てられた三年生。大切に守り継承してきた誇りある歴史を次代につなげて活かしてほしいという、皆さんの子どもに向ける温かい眼差しが感じられました。

竹田商店街の皆様からプレゼントを寄贈いただきました。

運動会に活用させていただきます。ありがとうございます。

